

令和3年度昇段審査等学科試験問題

剣 道

段 別	問 題	
初 段	1 問	剣道での「かけ声」について述べなさい。
	2 問	剣道における「三とおりの礼」について説明しなさい。
二 段	1 問	「五つの構え」について説明しなさい。
	2 問	「四つの足さばき」を説明しなさい。
三 段	1 問	「間合い」について述べなさい。
	2 問	「打ち込み稽古」と「かかり稽古」の違いについて述べなさい。
四 段	1 問	日本剣道形の必要性について述べなさい。
	2 問	「しかけ技」と「応じ技」の違いについて述べなさい。
五 段	1 問	日本剣道形稽古上の注意点を箇条書きで4つ以上記せ。
	2 問	「すり上げ技」と「返し技」の違いについて述べなさい。
A 級 公認審判	1 問	審判員の位置どりについて述べなさい。
	2 問	「有効打突の要件・要素」について説明しなさい。
B・C級 公認審判	1 問	「審判員としての心構え」の一般的要件と留意事項について述べなさい。
	2 問	「鏢ぜり合いでの膠着(こうちゃく)状態」とはどのような事が説明しなさい。

居 合 道

段 別	問 題	
初 段	1 問	あなたが居合道を始めた理由を述べなさい。
	2 問	全剣連居合一本目「前」について注意することを述べなさい。
二 段	1 問	あなたの居合道修行の心構えと、安全について述べなさい。
	2 問	全剣連居合三本目「受け流し」の要義を記し、注意している点を述べなさい。
三 段	1 問	あなたが居合道修行を続けて良かったと思うことを項目を上げて説明しなさい。
	2 問	全剣連居合四本目「柄当て」の要義を記し、注意している点を述べなさい。
四 段	1 問	居合道指導者としての心構えを述べなさい。
	2 問	全剣連居合五本目「袈裟切り」の要義を記し、指導上注意する点を述べなさい。
五 段	1 問	居合道指導上の要点を五つ挙げ説明しなさい。
	2 問	全剣連居合七本目「三方切り」の要義を記し、指導上注意する点を述べなさい。

杖 道

段 別	問 題	
初 段	1 問	杖を始めた理由について述べなさい。
	2 問	杖道の構えについて述べなさい。
二 段	1 問	杖道の修行で得るものについて述べなさい。
	2 問	太刀の構えについて述べなさい。
三 段	1 問	道場における礼について述べなさい。
	2 問	形の重要性和その効果について述べなさい。
四・五段	1 問	広島県で受審、受審者で問い合わせして下さい。
	2 問	

学科試験は、剣道については日本剣道形、居合道・杖道、審判法については実技の合格者を対象に実施しますが、審査受付時に答案用紙を提出して下さい。

注 意

- 答案用紙は「**B4版原稿用紙**」を使用し、問題毎に原稿用紙1枚(200字以上400字未満)に**自筆**で記入して下さい。
- ※ 「B4版原稿用紙」を使用していない答案用紙が散見されます。必ず「B4版原稿用紙」を使用して下さい。
- 答案用紙には1行目の書き出しに「**受審段位等**」、やや空けて「**氏名**」、2行目に「**問題番号**」を記入し、3行目から回答を記入して下さい。
- ※ 受験番号～受付係が記入するので、記入の必要無し。
- ※ 「**受審段位等**」・「**氏名**」・「**問題番号**」の記入漏れの無いよう注意して下さい。